

**\* 初代東京天文台台長寺尾寿の新たな写真発見**

アーカイブ室新聞第18号 井上四郎資料1 初代東京天文台台長寺尾寿の記念行事の集合写真(2008年6月9日)、第22号 先の記念写真は寺尾寿教授在職満25年祝賀会とわかる(2008年6月13日)、第65号 東京天文台初代台長寺尾寿の家系図を入手(2009年3月18日)、第97号 東京天文台初代台長寺尾寿の娘さんの天文月報記事(2008年11月21日)、第312号 明治19年の初代東京天文台台長寺尾寿の31歳の写真発見(2010年4月9日)など、元東京天文台職員井上四郎の遺品の中から寺尾寿の東大教授在職満25年記念祝賀会の記念写真を発見したことから、初代東京天文台台長寺尾寿に関する史料が発見されるたびに記事を書いてきた。今回、寺尾寿の故郷福岡在住の友枝氏(アーカイブ室新聞の読者)から寺尾寿の1級の資料だと娘敦子の結婚写真の1枚(写真1)が送られてきた。



写真1 寺尾寿の娘 敦子の結婚写真

前列右より、新郎：森安三郎、寺尾寿の母：寺尾愛子、寺尾寿夫人：寺尾駒子、新婦：敦子、後列右より、元内閣総理大臣(当時は新郎先輩)：広田弘毅、新郎の先輩：山座円次郎、新婦の父：寺尾寿、新婦の叔父：寺尾亨、新婦の兄：寺尾新

この写真を入手した友枝氏は、平成3年（1991年）に秀村選三九州大学名誉教授から頂いたそうである。寺尾寿の娘敦子と森安三郎氏との結婚式当日の写真であろうから明治40年あるいは明治41年に撮影されたものとあった。時に寺尾寿は53歳である。

秀村九大名誉教授、友枝氏はともに寺尾寿の研究者なのであろう。友枝氏からは以前にも寺尾寿に関する大量の資料をお送りいただいたことがある。その時、友枝氏から我々が寺尾寿の東大教授在職満25年の記念写真の敦子氏の美しさに魅了されていると話したところ、敦子の結婚写真があると伝えられ、その到着を待っていたのである。

寺尾寿の父、寺尾喜平太は明治4年（1871年）47歳で4男2女を残して病没している。36歳で未亡人になった喜平太夫人愛子（アイ）氏は世相激変の明治時代に6人の子供を育て、4人の息子を最高学府大学まで出したことは驚嘆の一語である。どれほどの女丈夫、賢夫人であったとしても驚きに堪えない。

今回、友枝氏から頂いた資料は

- 1) 敦子結婚式当日の記念写真
- 2) その写真の人物を同定したメモ
- 3) 戸主寺尾寿の除籍戸籍謄本の写し
- 4) 寺尾寿の弟、寺尾亨の養子東山千恵子系図
- 5) 東山千恵子の家計に現れる人物の調査メモ
- 6) 西日本新聞昭和63年1月4日付の「聞き書きシリーズ」社頭春秋記事（この中に寺尾寿、寺尾亨、広田弘毅等について語られている）
- 7) 中桐苑の書簡（この中に、敦子結婚写真に写っている人物についての調査メモがある）

これらの資料を見るにつけ、寺尾寿の4兄弟はすさまじい兄弟である。

- 1) 長男：寺尾寿：日本最初の理学博士、初代東京天文台長、日本天文学会創設者初代会長、東京物理学校創設者の一人、初代東京物理学校長など
- 2) 次男：寺尾亨：明治17年判事を経て東大教授、その後フランスに留学、東大教授に復職、外務省参事官兼任、明治32年法学博士、国際法の権威、1903年（明治36年）には有名な七博士意見書でロシアとの早期開戦を唱えたことでも有名。
- 3) 三男：澄川徳：医学博士、澄川内科病院長（澄川家を継いだ）
- 4) 四男：小野隆太郎：司法省法学校卒、福岡市議、福岡県議、判事（小野家の養子）

この敦子の結婚写真に登場する人物、広田弘毅など時代の大河に登場するそうそうたる人物である。